

# 英語科学習指導案

指導教諭：

授業者：

1. 日時：平成 30 年 6 月 14 日（木）第 3 時限
2. 学級：第 1 学年 4 組（40 名）
3. 教室：1-4 教室
4. 教材：NEW CROWN1
5. 単元名：Lesson2 My School
6. 単元目標：近くのものや遠くのものとの違いを意識することが出来る。自分と相手以外の人や物を説明し、知りたい情報を尋ねることが出来る。

## 7. 内容項目（教材観、生徒観、指導観）

### （1）教材観

この単元は、健が外国から来たブラウン先生に学校を案内している場面である。健は日本の学校の姿を説明している。日本の良さを相手に伝えることによって、日本の文化や歴史の奥深さに改めて気づくことができる。

言語材料としては、this, it, that は人や物を説明し、what は知りたい情報を尋ねることができる表現が取り扱われている。冠詞や名詞が新出単語として出てきて、何度もペアワークの英文や教科書の本文を音読することによって、定着することが出来るよう指導する。さらに口頭練習でアウトプットして、最終的にペアチェックを行い、それらを自然に身につけることができるようにする。

### （2）生徒観

忘れ物をする生徒も少なく、活動では声を出して、積極的に授業に参加する生徒が多い。切り替えが早く、スムーズに授業を展開することが出来る。しかしながら、自信がない時には発言できない生徒が多く、活動をして成功した時に褒める発言をするなどして、自信を持たせることが望ましい。ただ、行動の早い生徒に合わせて、終わっていないにも関わらず、板書をしている手を止める生徒もいることから、生徒の状況を把握することが必要である。発言量は生徒によって異なるが、発言が少ない生徒もジェスチャー活動等で参加しているので、その生徒が出来ていることを認めながら、さらに苦手なことに挑戦するようサポートすべきである。

### （3）指導観

この単元で身につけたい能力は三点ある。まず this と that の違いである。これを定着させるために、ジェスチャー活動や例文を用いて口頭音読を反復させる。二点目に、冠詞や名詞が新出単語として出てきて、語順や使用方法について混乱する可能性がある。そのため、冠詞を名詞と一緒に使ったフレーズを例題として作り、さらに何度もペアワークの英文や、教科書の本文を読むことによって定着することが出来るよう指導する。最後に、身近な人や物を説明したり、紹介する力である。そのために口頭音読で、相手に説明をする力を養う。日常的に使用できるようにするために、実際に、自分の持っているものを相手に聞いたり説明する活動を実施し、身近に感じられるようにする。

## 8. 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
<b>活動の取り組み</b> コミュニケーション活動で、間違ふことを恐れず積極的に取り組んでいる。	<b>話すこと</b> 単語や文を正確に発音することが出来る。 <b>書くこと</b> This is~. / That is ~. / It is~. や What's this? / What's that?を用いた文章を書くことが出来る。	<b>聞くこと</b> CDや教師の質問等の内容を正確に聞き取ることが出来る。 <b>読むこと</b> ジェスチャー活動等で、単語に合ったジェスチャーを考えることが出来る。	<b>言語の知識</b> 人や物を紹介する表現を、身につけることが出来る。 <b>文化の知識</b> 自分の国の文化や歴史の良さについて、再認識することが出来る。

### 9. 単元の指導と評価の計画 (全8時間)

時間	学習内容	主な評価規準 [観点] と評価方法
第1時	This is~. That is~. It is~. ・スキットによる文法の導入と口頭練習 ・スキットチェック	[コミュニケーションへの関心・意欲・態度] ・スキットチェック [外国語表現の能力] ・後日ペーパーテスト、音読テスト [言語や文化についての知識・理解] ・後日ペーパーテスト
第2時	Is this~? Is that~? ・スキットによる文法の導入と口頭練習 ・スキットチェック	[コミュニケーションへの関心・意欲・態度] ・スキットチェック [外国語表現の能力] ・後日ペーパーテスト、音読テスト [言語や文化についての知識・理解] ・後日ペーパーテスト
第3時	本文 Lesson 2 Get Part1 ・文法の復習 ・リスニングプラクティス ・本文内容理解、読解	[外国語理解の能力] ・後日ペーパーテスト
第4時	What is this? What is that? ・スキットによる文法の導入と口頭練習 ・スキットチェック	[コミュニケーションへの関心・意欲・態度] ・スキットチェック [外国語表現の能力] ・後日ペーパーテスト、音読テスト [言語や文化についての知識・理解] ・後日ペーパーテスト
第5時 (本時)	本文 Lesson 2 Get Part2 ・文法の復習 ・リスニングプラクティス ・本文内容理解、読解	[外国語理解の能力] ・後日ペーパーテスト [外国語表現の能力] ・音読テスト
第6時	She is ~. He is~. ・スキットによる文法の導入と口頭練習 ・スキットチェック	[コミュニケーションへの関心・意欲・態度] ・スキットチェック [外国語表現の能力] ・後日ペーパーテスト、音読テスト [言語や文化についての知識・理解] ・後日ペーパーテスト
第7時	本文 Lesson 2 Get Part3 ・文法の復習 ・リスニングプラクティス ・本文内容理解、読解	[外国語理解の能力] ・後日ペーパーテスト
第8時	What time is it?	[コミュニケーションへの関心・意欲・態度]

<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキットによる文法の導入と口頭練習</li> <li>・スキットチェック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキットチェック 〔外国語表現の能力〕</li> <li>・後日ペーパーテスト、音読テスト 〔言語や文化についての知識・理解〕</li> <li>・後日ペーパーテスト</li> </ul>
---	--

10. 本時の展開

(1) 本時目標

教科書の絵やジェスチャーを導入して教科書内容が理解できることにより、自分の知りたいことを相手に質問したり、質問に対して答えたりすることが出来るようになる。

(2) 本時の評価規準

外国語理解の能力、外国語表現の能力

(3) 本時で使う教材

NEW CROWN1、パートナー、ワークシート2枚 (Song#2、Super Pair Work#8)

(4) 本時の学習過程

	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入 15分	1. Greeting  2. 忘れ物チェック  3. Song #2 (Country Road)  4. 宿題の解説  5. 前回の復習	挨拶をして、曜日・日付・天気を質問する。     辞書で歌詞中にある (grow) を黒板に書き、一斉に辞書で調べさせる。   宿題のワークの重要なポイントを解説する。   前回使用したプリントを使って、音読練習をする。	机間巡視をして忘れ物している生徒を指導、チェックする。前回の宿題であるワークもチェックする。	
展開 30分	6. Listening	教科書のリスニング問題を解く。	リスニングに入る前に新出単語について確認しておく。Review で行った文法が聞き取れるかを確認。	〔外国語理解の能力〕 後日ペーパーテスト

	7. Picture Question and Answer (ペア活動で、教科書 p.30 の絵を参考にした教師の質問に答える)	ペアで、発問に答える。	しっかりと文で答えさせる。本時で習った this、that の復習も兼ねた発問をする。得意な生徒には難しい質問を、苦手な生徒には易しい質問をする。	〔外国語表現の能力〕 音読テスト
	8. New words	フラッシュカード読み リピート 日本語に訳す。 ジェスチャーを考える。	難しい単語は、例文や身近なものを出し、考えやすいよう工夫する。新しい単語の関連語を出すことで、習得単語数を増やす。	
	9. Reading	教科書本文を読む。	文字を見て、発音が分かる。	
	10. Oral Introduction	英語を聞いて本文の内容を推測する。	出来るだけ易しい英語で説明する。単語の確認もしながら、本文にスムーズに入れるようにする。	
	11. Reading	音読練習をする。 ①一語読み ②センテンス読み ③ジェスチャーリーディング ④ペアワーク ⑤キーワードリーディング	音読に加え、内容理解にもつなげていく。机間支援を行いながら、本文内容を理解できるようにする。	
まとめ 5分	12. 振り返り	パートナーP18、19 をする。	What is this~?を書けるようにする。	
	13. HW	音読練習		